



大分県立竹田高等学校  
関東同窓会  
報  
第15号

発行者・会長 伊東七五三八  
編集者・委員長 神田 清  
発行所・関東同窓会事務局  
〒100 東京都千代田区永田町  
2-4-11フレンドビル7F  
電話 03(5251)2730  
FAX 03(5251)2750

印刷・佐伯印刷 頼

# 母校創立百周年記念行事

## いよいよ迫る

### 事業計画・行事日程について

大分県立竹田高校校長 久山 征三

母校竹田高校は、今年創立百周年を迎えます。

関東同窓会の方々には、母校の教育推進のために平素からご支援を賜り心からお礼を申し上げます。

創立百周年記念事業に対する募金活動には伊東会長の下に鋭意取り組んでいただき多くの方々のご協力をいただき深く感謝いたします。

創立百周年記念事業について、同窓会・修道記念学林会・学校・PTAの四者で実行委員会を組織し、検討してきました。九十周年の折、皆さんにお願いをして修道会館を建設いたしました。現在、修道会館は、バレーボールの授業や部活動、器楽

於 母校  
平成九年九月二十四日(水)

部の練習等遅くまで活用し第二体育館の役割もしております。

百周年は、奨学金制度の創設、百年の星霜の歴史をつづる記念誌の発行を中心に記念式典、記念事業を計画し、その事業費として、五〇〇〇万円の目標で募

金活動を行ってまいりました。記念式典は、平成九年九月二十四日(水)に挙行することに決定しました。

式典は、九時三十分から十時三十分まで一時間の予定です。慶祝行事として、記念講演を十時四十分から一時間、講師は元新日鉄副社長阿南惟正氏(昭二六卒三回生)をお願いいたしました。講演終了後、正午まで器楽部によるプラスバンド演奏

を、十二時三十分まで淡窓伝光霊流日本詩道会長宗家深田光霊先生(昭二卒中二六回生)の創立百周年を祝う自作の詩吟を披露する予定になっております。午後は、祝賀会を行うことになっております。

また、臥牛祭を九月二十四日から二十六日までの三日間企画、文化行事、体育大会、招待試合(野球、剣道)をそれぞれ実施することにしております。

なお、記念式典は、体育館で実施しますので、参列できる人数も制約されると思われませんが、会員の方々にはご理解・ご了承を賜りたいと思っております。

記念誌のご希望の方への頒布価格は一万円以内で頒布できるようにしたいと実行委員会

で検討中であります。母校の創立百周年記念事業に絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に関東同窓会のみならずのご発展を祈念申し上げます。記念式典をはじめ諸行事などのご案内いたします。(注①) 文責)

## 関東同窓会

### 第十一回

### 関東同窓会

- 総会
- 懇親会
- 企画

目下着々と

準備中

乞うご期待!

当番幹事

第八期(昭31年卒)

第十八期(昭41年卒)

一、総会

・ 会務会計報告

・ 監査報告

・ 新役員の改選

・ 新年度の方針

・ 母校創立百周年

記念行事への参

加他

注①  
竹田高校事務長

本田 照昭  
(昭30年卒)

二、懇親会  
当番幹事さんによるお神楽大会他  
尚、会場は地域別に椅子席を準備。先輩後輩の交流にご期待下さい。

## お知らせ

### ◎第十一回

### 関東同窓会総会

平成9年6月28日(土)

午前11時開会

・ 於新宿センチュリーホテル

### ◎母校百周年

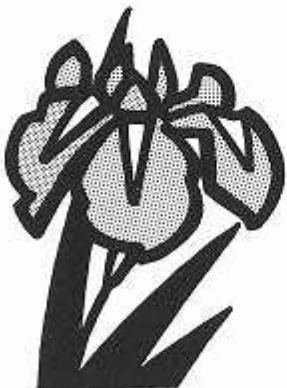
### 記念式典・祝賀会

平成9年9月24日(水)

午前九時三十分

・ 於母校

●お願い!! 百周年記念事業会募金のご協力を重ねてお願い申し上げます。





# 関東同窓会 きのう今日

幹事長 佐藤 映之  
(昭28年卒)

関東同窓会も設立十一年目に入り組織面も一段と重厚さを増し内容も充実途上にあると思えます。これはひとえに各役員の会運営における献身的ご尽力、会員各位の積極的ご協力の結果であることは言をまちません。

近年(過去三年)の総会・懇親会の出席者をも毎回約二百名がほぼ定着し構成会員数も千七百有余名を擁するに至っております。執行部としては常々、母校の発展を願いつつ、会員相互の情報交換の場、同窓生友情拡大の場づくりに心掛け魅力ある同窓会の運営を目指したいと鋭意努力中であります。

今年、わが母校は創立百周年を迎えます。誠に同慶の極であります。明治三十年(一八九七年)大分県立大分中学竹田分校として産声をあげ爾来、脈々と百年の歳月を積み重ね、その間、質実剛健、自律自尊、進取研鑽を教訓に温故知新の市政を培い幾多の人材を世に輩出して大きな節目を刻もうとしています。私共にとつては正に誇れる母校であります。因みに大分県下では宇佐、杵築、臼杵高校が同じく創立百年のようでありま

す。百周年記念式典は来る九月に実施されるようですがその内容は未だ分かっておりません。会員の皆様には本紙や幹事会を通じ逐一ご連絡を差し上げたいと思っております。

現在、在京大分県関係団体(市町村の会、学校関係同窓会等)が約九十あり、それぞれが活動しているようです。在京県人会主導のもと、系統別に組織化をすすめております。その中であつて学校関係の部で竹田高校関東同窓会は常任幹事校としてその任に就いております。母校の名を汚がさぬよう他校同窓会と大いに交流を図りたいと思っております。

平成九年は会則により役員の変更期にあり間もなく新陣容が発表になります。いつもこの期に痛感しますことは、役員に女性が少ないことです。開かれた同窓会を目指すには言うまでもなく老若男女を問わずバランスのとれた巾広い方々の参画が好ましいと思ひます。学年幹事(卒業年次毎)に是非、女性を送り込んで下さるようお願い致します。

過去一年を振り返りかえつて特筆すべきは、当会設立に精力的に奔走され礎を築かれた相談役の後藤鉄石氏、母校愛旺盛、後輩を叱咤激励下さった顧問の矢嶋三義氏、そして幾人かの先輩が先立たれたこと、まことに残念であり寂寥の思いがいたします。心よりご冥福をお祈り申し上げます。次回(平成九年度)総会、懇談

会は六月二十八日(出)、新宿ホテルセンチュリーに於て実施されます。予めスケジュールに折り込んで下されば幸いです。尚今年の当番幹事は昭和三十一年卒(第八期)と四十一年卒(第十八期)の皆さんです。既にはりきつて準備をすすめていただいております。

## 委員会報告

### 企画委員会便り

企画委員長 工藤 敏暢  
(昭29年卒)

関東同窓会も、早いもので十一年を迎える事になりました。また、母校も創立百周年の節目の年でもあります。

当会も第五回目より当番幹事制を引くことから、みなさんの参加意識が高まり、順調な歩みをしております。今年、三十一年、四十一年の卒業生のご協力を頂いて着々と準備が進んでおります。今回の目玉は、当番幹事さん主演によるお神楽大会であります。素人神楽がどんな風になるのか、今から楽しみです。

懇親会は地域別の椅子席を準備しております。近所のおじさん、おばさん、どここの息子と、思わぬ出会いの演出を考えております。とにかく楽しい同窓会は人数が多くなれば自然と盛り上がるものであります。今年、二〇〇名の参加を目標にしております。

と思ひますが、より一層のご協力をお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。

(企画委員 桑島 輝茂記)  
(昭42年卒)

### 組織委員会から

組織委員長 川合 文彦  
(昭30年卒)

首都圏で生活している人なら、朝日、毎日、讀賣などの夕刊に毎週記載される同窓会の開催案内には、ある郷愁をもつてご覧になっていくことでしょうか。この案内を知って世話役さんに電話で出席すると申し出る人もいと聞きます。同窓会があると

いうことを知らない人も結構多いということをおぼやためて知ることとなります。組織委員と学年幹事さんの協力で、同窓会活動を地道に継続していきたいと思ひます。今、副委員長さん若い世代の人になっていただく準備をしています。

### 広報委員会

広報委員長 神田 清  
(昭26年卒)

臥牛を会員相互の自由な意見交換・触れ合いの場として大きく育てよう!!

委員会メンバーの一部が交替致しました。

旧 久保 博紀 (昭29年卒)  
新 池田 重秋 (昭40年卒)

●昔 豊広 興梧木宗人  
(昭38年卒) (昭60年卒)  
長い間お世話様になりました。今後共よろしくご支援願ひます。

### 名簿委員会

次年度事業計画  
名簿委員長 山口 雄三  
(昭29年卒)

名簿委員会では、今年度は新しい名簿を発行して会員の皆様にお互いの最新情報をお届けするべく、日夜努力しております。が、個々の会員の動向は会員自身しか分からないのが実情です。住所、勤務先、電話番号の変更などが御座いましたら、なるべく早めに学年幹事或いは名簿委員にご連絡下さいませようお願ひ申し上げます。なお名簿は6月28日(土曜日)の関東同窓会の日、皆様にお渡しする予定です。ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。また若い年代の方の入会が滞っておりますので、ご存じの方は進んで登録するようお誘ひして頂きたいと思ひます。なお2月7日の役員会で話題になった事項の中で重要と思われる事は、学年幹事は男女各1名にお願ひしたいと言う提案でした。

関東同窓会には会員皆様の会です。皆様が積極的に参加されて会の発展と会員の親睦を深められますことを心から希望いたします。



# 竹田市の 展望と夢

竹田市長 阿南 馨



竹田市長 阿南 馨

竹田高校関東同窓会の皆様におかれましては益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

平素から、ふるさと竹田に想いを寄せていただき厚くお礼を申し上げます。

さて、今回同窓会事務局より「竹田市の展望と夢」と題して原稿依頼がありました。いささか困惑しているところです。

といいますのも竹田市の現状、そして周囲の環境があまりにも厳しいからです。過疎・高齢化は依然として続いており、昭和二十九年四月市制発足当時三万六千人余りを擁した市の人口が、今では一万九千人を割る事態となっております。

こうした厳しい環境の中で竹田市活性化の道はないのか。これを探るため歴代市長を先頭に

真剣に模索が続けられてまいりました。結論としては、やはり竹田市にとっての基幹産業は何といっても農林業です。その振興が鍵を握っているといえます。しかし、それだけでは活性化につながりません。農林業の振興プラス「伝統的文化都市」「名水都市」あるいは「豊かな自然」といった竹田市の特色を生かした町づくりが必要であります。

ところで、私は昨年四月より竹田市長として、その重責を担うことになりました。

「協調と改革」を基本理念とし「ゆとり、豊かさ、潤いと文化」のおおる竹田市の実現に向け、いま全力を尽くしているところです。

ここで竹田市が現在取り組んでいる施策を四例ほど御紹介申し上げます。標題に変えたいと思います。

## 「道の駅竹田」―水の国のわくわく農園開設

国道四四二号線沿いの城原米納地区に「農産物直売所」「物産館」「レストラン」「民工芸館」などを昨年七月に竹田市が一体的に整備をしました。以来連日盛況をみせています。この施設は、昨年建設省より「道の駅」として登録されていますが、農業と観光を結びつける構想の中から生まれました。道の駅としては、県内では緒方町の「原尻

の滝」、宇目町の「レストハウスうめりあ」について三番目の施設です。この「レストラン」の中心的なメニューは、豊後牛や湧水を使った湧水カレー、椎茸入りの和風ハンバーグと竹田名物のだんご汁のセット、カボスケーキ、カボスシャーベットなど竹田の素材を活用したオリジナルメニューで、非常に好評を得ています。

なお、この施設の周囲には、都市と農村の交流の場として、平成十二年までに「ふれあい農園」や「体験農園」も設置される予定になっていますので、帰郷の際には是非お立ち寄りいただきたいと思えます。

## 地域高規格道路「中九州横断道路」の整備

竹田市等九州中部地域は、長年に亘り高速道路体系の谷間に置かれてまいりました。しかし平成六年十二月、大分竹田熊本を結ぶ道路が地域高規格道路「中九州横断道路」として指定を受けたことにより、遅ればせながら整備されることになりました。

これまでのところ、犬飼町大野町間が直ちに工事に着手する「整備区間」、大野町竹田市間「調査区間」として指定を受ける「整備区間」の前段に当たる「調査区間」として指定を受けています。現在、竹田市としては、大野町竹田市間も「整備区間」に格上げするよう国等に

強く働きかけているところです。

## 大規模林道(スーパー林道)の建設と祖母山麓活性化計画

祖母・傾を縦走して熊本県に抜ける大規模林道(宇目小国線)の建設に着手して既に二十年が経過しました。このうちの竹田市神原(白水の滝)の林道が本年三月末に完成します。また、倉木緒方間が本年度から新規着工されることとなります。この大規模林道は、「祖母・椎葉・五木山地」圏域の開発を図るための基幹林道となるものです。

全線開通は平成十二年度末の見込みとなっています。これが開通しますと林業はもとより農業・観光の振興に大きな役割を果たすものとみられています。

なお、林道沿線に当たる祖母山麓、奴岳・宮砥地域は、広大な原生林、貴重な動植物、溪谷を流れる清流など自然に恵まれています。こうした資源を生かして将来的にはグリーンツーリズムの流れに沿った体験学習型、滞在型の森林保養地をつくっていかうと、いま動きが始まっています。

## 温泉開発の推進

温泉開発は、竹田市民の長年の念願であり、これまでに何度か掘削が試みられてきました。しかし、二百メートル程掘削した地点で固い阿蘇溪谷につき

当たり、それ以上の掘削を断念してきたという経過があります。竹田市が将来滞在型観光地に脱皮するためには温泉開発は欠かせないという観点から市民にも以前より強い要望があります。こうしたこともあって竹田市は、数年前から温泉掘削のための基金積立てをしてきたところです。既に地上あるいは空中からの科学的探査を終え、有望箇所を絞り込みも出来たので、これを基にここ一二年の内に温泉掘削に取り掛かりたいと考えています。

以上、竹田市が取り組んでいる振興数例をあげましたが、いづれも竹田市にとっては大プロジェクトであり、在京の皆様方にも陰から御支援をいただきましたと思います。終わりに、同窓会皆様の今後の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げる次第であります。



史蹟 岡城址



海外だより

「ベルギーへの出張」

田部 修士 (昭42年卒)

臥牛の編集会議のタイミングに合わせたかの如く、一九九五年十一月十九日から二十七日までの間、突然に子会社の関連業務でベルギーに出張することになりました。海外便りでは十二号で、前編集委員の古庄先輩に「シツコク」第一回目の原稿を依頼した手前、現編集委員としての責任を感じて(?)恥をも顧みずワープロに向かった次第です。以前に海外生活の経験はあるといっても、ヨーロッパは私にとって未開の土地で、久方振りに少々緊張した海外出張となりました。

最近では、日本人にとって欧米はもはや珍しい土地ではありませんが、初めて欧州を訪れる足の短い日本人(後ほど本文に出てきます)がそこで何を教わり、何を感じたか綴ってみました。帰国から多少時間も経過していますので、思いつくまま順不同に綴りましたので、見苦しい点は予めお断り申し上げます。(スミマセン)

一、首都ブラッセルにて

EUの本部がある都市だけに洗練されたものがあり、重厚な

コンラッドヒルトンホテル(勿論のことですが私は田舎町の安いビジネスホテルに宿を取りました)を筆頭に、一流ホテルや歴史的な建物と近代化された町並みが見事にマッチしており、ササガの感がしました(早く言えば、田舎者の自分が再認識できた)。私は、多くの日本人が買

い物に殺到する(?)街の中心地は素通りしただけで(正直なところ多少痩せ我慢があったかも知れませんが)、街の南側に広がるアルデンヌの森を抜け、ナポレオンの敗戦で有名なワテロロの丘までドライブをしました。聞いてはいましたが正直に言ってみるとヨーロッパの森に魅了されました。森の中は木立が大きく、夏には一面葉が茂って完全に太陽の光を遮る為に、日本的な藪がほとんど無く、木立の根元は苔に覆われていました。それが冬になるとちよūd良い加減に日ざしがさして、小春日和にはそれこそ絶好の散歩道になる様です。ふと見ると、貴族(?)らしき風情の人たちが悠々と馬で通り過ぎましたが、その乗馬服姿と初冬の森の風景は、映画でも見る様な、なんとも羨ましい限りでした。西洋と東洋いずれが良いとは決められませんが、油絵と水墨画の違いが分かる様な気がします。それにしても最近の日本人の気ぜわしい生活と比べて何と差があることか。次にベルギーに来る時にはきつと森の中を馬で散策をと密かに誓いました。(キツト!)

二、ベルギーの田舎で

ベルギーはその国土の大半が真平らな平野で、ブラッセルを離れると一面緑の閑静な景色が広がり、高速通り沿いに小さな村や町が点々と繋がる田園風景に変わります。畑の緑と遠くから見るとまるで玩具の様な煉瓦造りの家々が完全にマッチして、あちらこちらに馬や牛のノンビリとした姿も見え、アウトドア派(田舎者?)の私には見ているだけでも心がウキウキする気がしました。この国では殆どの個人住宅が煉瓦で建築されています。たまに白く化粧をした家もありますが、ほとんどが生地の赤い煉瓦色です。それが芝生の緑と調和して、なだらかな起伏がある国の南東側の地域はまるで絵画の中をドライブしている様な気分であったことを付け加えておきます。

しかし、一日中良いことが続くことはなかなか無い様で、ブラッセル周辺はまだ多少の起伏はありましたが、西半分は真平らでした。初めは異国の情緒に



ベルギー5つ星のレストラン「コム・シュ・ソワ」ラウンジにて!

れました。

三、車のアクセルは目一杯に

ベルギーで知ったことの一つに、私達日本人が如何に車の性能を使いこんでいないか知らされたことでした。ベルギーも交通網は発達した国の一つですが、ベルギーの人たちは、その高速網を車のアクセルを常に目一杯に踏み込んで走り回っています。そのスピードに慣れない私は助手席に座って何と怖い思いをしたことか。私の案内人は、一二〇kmを超える高速で何時間も運転をして、さも当たり前顔をしている様には完全に参りました。(降参)

多少酔っていた私も、西側にさしかかって以後は海岸近くのブルージュの町に到着するまで、運転手には悪いと思いつつも、真つ直ぐな道と変化のない景色に内心まったく閉口したものです。

予断ですが、ここでもう一つ外国の悪口を添えておきたい事があります。アメリカ滞在中に中西部のオハイオ州デイトンの近郊で「世界一レンガ造りの家が多い町」との看板を見かけたことがありましたが、アメリカ人が冗談(ウソ?)好きであることをベルギーで今更ながら思い知らさ

大分県下一古い和菓子の暖簾

元祖

三笠野

竹田銘菓

筑城の月

創業文化元年

旧岡藩御用達

御菓子司

但馬屋老舗

竹田市上町

TEL0974(63)1811

茶房 たじま屋

茶房 だんだん

茶房 阿梨耶

ムジカガレリア アラヤサーラ



#### 四、長い昼食

その日は、東側から西のはずれのブルージュまで一揆にドライブと意気込んでいました。途中一カ所古いお城を見学して、気分をよくしたのが甘かったと反省しています。チョットおいしいレストランに案内するからとの言葉に誘われて(ベルギーのオイスターを食してみたいとの思いが頭を掠め)、素直に従ったのが全ての間違いでした。何と昼食はフルコース並みの食事、最後に出たデザートも、甘いものに目のない私としては、とても断り難い絶品で全て平らげた頃には二時間以上は染に経過した後で、冬の太陽は既に西に傾き始めていました。(内心平然と)運転役の友達を急がせてブルージュについた時は五時を回っており、かのベルギー一番の観光地ブルージュは殆ど夜で、東のハズレからはるばる海岸の町まで来たというのに観光はできずじまいで、穏やかな顔つきをしていましたが内心かなり不満が充満していました。

平日の昼食は、ほとんどが例の歯ごたえのある固いパンで作ったサンドウィッチで、アメリカと同じようなものだと思いますが、週末にはキッチンした昼飯を取るのが習慣の様でした。思い返せばレストランもかなり混み合っていました。一日中運転をさせて申しわけな



ベルギー「ハッセルトの街並み」

く思い、ブルージュの帰路デイナーに誘ってみました。「夜は軽い食事しか取らない」とのそけない返事であった。(ミジメ)以前に、「ヨーロッパではかなり親しくならないと家と呼んでゴチソウで歓迎してくれない」と聞いたことがあります。どうも事実は彼らの夜の食事が全く質素なもので、お茶とわずかなツマミ程度しか取らない事を「歓迎してくれない」と勘違いした日本人が居た、と言うのが真相ではないだろうかと思ったものです。

#### 五、ヨーロッパでの日本人の見分け方

飛行場等の人込みの中でも子供は日本人がすぐに分かる、ある日本人に教えられました。子供は目線が低いので足もとに目がいく様です。ズボンの裾を目一杯長く(引きずる様に?)

している足が目に入る様ですが、子供に言わせるとそのほとんど一〇〇%が日本人で正解とのことでした。(なるほどと感心していいものやら悲しいやら)アメリカ駐在より帰国して久しくなりますが、そう言えば、現地では全く気にならなかつたアメリカ製スーツのズボンの裾の短さがヤケニ気になるこの頃の私です。

何はともあれ無事に一週間の予定を終えてアムステルダム経由で帰国しましたが、ヤケニ真面目なベルギー人のイメージが残った仕事の旅であったことを書き添えて終わりにしたいと思います。

### 平成八年度竹田会 大盛會裡に 開催される

平成八年十一月二十九日  
於 中野サンプラザ

田部 修士(昭42年卒)

竹田会の総会が十一月二十九日午後六時から、東京・中野サンプラザにて開催されました。来賓に阿南竹田市長、内川紀昭市会議長、高山商工会議所会頭、本田日出町長他多数を迎え、総勢百二十人程の盛大な会となりました。

司会は桑島輝茂幹事が担当。矢嶋三義先輩ほかこの一年の物故会員の方々への黙禱を捧げた後、開会を宣言した。

初めに里見会長より「当竹田会は、出身者だけでなく竹田市にゆかりの方は全て会員です。広く交流を求め、竹田市の発展の為に当会としても支援をさせて頂きたい旨の挨拶を頂いた。次に阿南市長が「この会に出席すると何故かほっとします。当会の皆様の叱咤激励を心強く受け留めています。」と挨拶され、竹田市内の化粧なおし、中九州自動車道、高齢化の進む竹田市その他を話題に市政の現況報告をされた。又、高山会頭が同席の首、姫野両福会頭を紹介、名水百選に入った竹田の水、岡城

パイパス、河川改修等について報告「若い副会頭と共に頑張る」と挨拶。更に竹田出身の本田日出町長初め竹田市からの出席者が壇上に登り、自己紹介と併せて「只今、紅葉の運動展開中。駅前河川改修と共に紅葉の植樹を広げている。住宅分譲が七十区画」等々、新しい竹田市を語った。



里見会長を交えて荒城の月を合唱

来賓の挨拶の後、工藤幸雄幹事の発声で一同乾杯。歓談、会食となった。恒例となった福引抽選では、長い山芋他多数の景品を手笑顔がこぼれ、最後に荒城の月の合唱で会が締めくくられた。

未来の素材に、



日本パーカライジング株式会社

〒103 東京都中央区日本橋1-15-1 TEL. (03)3278-4357

# 燃える!!

## 同期会

### 七耀会

### 還暦記念同級会開催

河野 充(昭30年卒)

「七耀会」とは昭和三十年、竹田高校を卒業した元美男美女の集う同期会の名である。昨年は、その我々が卒業して四十二年目、即ち「還暦を迎える年」という事になる。

さて、この記念すべき同期会は快晴に恵まれた十一月二十六日、雄姿を誇る久住山麓の高原荘にて開催された。

当日は、恩師都瑠嶺芳、首藤忠良両先生をお迎えし、会員も全国から百十余名が参加するという盛大な大会となった。

五時前には全員集合、記念撮影を終え会場へと移動が始まる。思いもよらぬ懐かしい太鼓の響きが聞こえてきたのである。お神楽だ。舞台には先ずあの鬼気迫る面構えの追えへボが舞った。恐ろしくて田圃を逃げ廻った少年時代が完全に甦る。そして、お姫様とおどけた男、チャリ(?)も舞った。タイムスリップさせるに十分過ぎるこの演出に一同感動しきり。

六時、新生和美女史の司会により大会は開会された。



久住高原荘(平成8年10月26日)

最初に物故者となられた方々への黙禱、副会長長野尻順一君の挨拶、恩師より祝辞を賜った後、新任の「日出町町長」本田維憲君が挨拶、そして遠く新潟より馳せ参じてくれた佐藤清八君の発声で乾杯し懇親会へ入った。

卒業以来の再会を喜び合う者、頭髪も黒い人、ゴマ塩の人、白い人、中に混じって無色の人、もちらほらと。しかし、名前を思い出すのに時間はいらぬ。たちまち竹田弁の花が咲き、弥が上にも盛り上がる。そして、夜が更けるのも忘れて唄い踊り語り合い楽しい一時を過ごした。

翌日も快晴。山へ登った健脚組を除いて全員でバス観光。二

百年ぶりに爆発した九重山から立ち登る白煙を後に、瀬本く飯田高原く筋湯く大観望を経て岡城へ。車窓から望む大自然の美しい景観はちっとも変わっていない。お多福山(黒岳)も大船も昔のままであった。岡城会館に着いて最後の昼食を摂る。いよいよ解散である。最後に、足立良一君が閉会の辞を述べ「七耀会還暦記念同級会」の幕は降りた。

そして、新たな思い出を胸に、再会を約してそれぞれ帰っていった。

友よ、ふる里よ、本当にありがとう。

### 竹田高校二六会名古屋大会 平成八年十月十二日

佐藤 和範(昭26年卒)

時恰も、名古屋祭英傑行列の最中に、偉大な田舎名古屋屋に西から東から空路で、新幹線の一部には自分で運転する車で、懐かしい顔が続々と集まって来た。中区錦一丁目名古屋観光ホテルが会場である。過去に別府、京都、箱根、竹田、博多、等々と各地区の幹事、諸兄、諸姉に世話をかけており何とか名古屋でもやれないか?と矢部武夫氏、樫沢満州紀氏、河野テルさんと私の四名が鳩首ミーティングを重ね、何とか開催にこぎつけました。



名古屋観光ホテル(平成8年10月12日)

が云える。アルコールもまわり饒舌になる。家族の近況、孫の自慢等、カラオケも次々に自慢の喉を競う。そして河野さんの伴奏で、荒城の月を斉唱、永嶺氏の音頭による万歳三唱で幕を閉じた。

翌十三日は希望者によるバスツアー、犬山市の明治村見学、危ぶまれた天候も好天に恵まれ小学生の遠足気分バスに揺られた。途中田原神社で小休止、ここは男性のシンボルが御神体の神社で大小様々なシンボルの模型に皆大笑い。

明治村では移築された明治、大正、昭和初期の由緒ある建物、施設を廻り入鹿池の畔を走る乗り物に刻の経過を忘れた。半日ではとても観尽せぬほどの会場をあとに昼食後名古屋に向かった。午後三時過ぎ由布院での再会を約して名古屋駅前まで名残を惜しんだ。尚十一日、十二日有志十八名でゴルフコンペを行ったことも付記します。

ホテル二階、曙の間」に男子三十三名女子二十五名総勢五十八名が顔を揃えた。第一部定期総会で高山会長の二六会近況報告、竹田高校創立百周年記念行事についての経過説明、続いて次期開催地として大分会代表幹事 永嶺氏が由布院で行う現在までの説明を発表した。そして竹田から参加した野仲製生氏の指揮により全員で校歌斉唱、總會を終わり、記念写真撮影に続き、第二部、懇親会、小代章氏の音頭により乾杯、そして久しぶりの顔が歓談、会食へと進んだ。四十五年の余白を感じさせない竹田の悪童時代の話にも花が咲く。高校生当時言葉を交わさなかった女性とも気軽に冗談







ふるさと名所紀行  
 朝地町・用作公園

ゆうじやく

朝地駅の南方約1.5km(徒歩約20分)にある用作公園は、四方を楓やモミジ、桜に囲まれ、その中心字池、芝生、老樹などを配した閑雅な日本式庭園で、紅葉の名所として知られています。この「用作」という地名は、中世、地頭の直管田を「用作田」といったことに由来するそうです。江戸時代には、岡藩主中川氏の別荘にされ、三代久清のときに家老の中川平右衛門に与えられました。以来庭園として整備され、その美しさに田能村竹田が何度も訪れたといわれています。

竹田高校の遠足の地としてもよく利用され、心字池に自生する菱の実(鬼笛とも呼ばれる)を取ろうとして、ズボンが濡らす剽軽な生徒が学年に一人はいたよいうな記憶があります。

竹田会  
 親睦ゴルフ会

平成八年九月二十六日(休)  
 於 フレンドシップCC

池田 重秋(昭40年卒)

第三十九回竹田会ゴルフコンペが去る九月二十六日、豊後の精鋭二十八名が集合し、茨城県のフレンドシップカントリークラブにて開催された。春秋の年二回定期的に開催されてきた当コンペも、いつの間にか三十九回を数え、回を重ねる毎に新入会員を迎え、益々盛会になってきた。今回はハンデキャップ改訂を控え、いつものアンダーハンドでのコンペとは若干趣を変え、新ペリアの元での競技であった。大叩きをした同伴競技者に「ここは隠しホールになっていてるから却ってラッキーだよ」などと慰めども、からかいとも付かぬ言葉を掛けながらの愉快な十八ホールズの後は例によって和やかな懇親会。初参加の方三名を交えて、昔懐かしい竹田の話やゴルフ談義に花が咲き、次回四月八王子カントリークラブで開催される第四十回記念大会での再会を約して散会となった。

尚、新規に参加を希望される方は、担当幹事秋元氏宛一報をお願いします。連絡先は左記の通り。

会社 ☎ 〇三(三三五六)〇四一  
 自宅 ☎ 〇三(三三九四九)〇四一



第39回竹田会ゴルフ会(平成8年9月26日)

●竹高関東同窓会  
 副会長

●中央監査法人  
 代表社員

公認会計士 長 吉 泉  
 (昭和26年卒)

〒100 東京都千代田区霞が関3-2-5  
 霞が関ビル32階  
 電話 (03) 3581-6281代  
 FAX (03) 3580-1868

随筆

ペットの後始末寸描

後藤 浩一(昭27年卒)



一念発起で早朝散歩を始めてから二カ月が過ぎた。目だけの会釈、口に出しての挨拶を交わす顔馴染みも二・三人出来、ルートも自宅近くの神田川添いの桜並木の往復、所要時間も一時間、が習慣となった。散歩・ジョギングに加えて犬の運動をなさっている方も時にすれ違う。

ある朝、トレパン姿の六十代とおぼしき婦人の連れた犬が両足を広げて腰を落としているのを見かけた。どうやら催したらしい。そっと通り過ぎ何気なしにみていると、件のご婦人、慌てず騒がず予め用意していたらしく適当な大きさに切った新聞紙を二・三枚重ねたものを犬の広げた両足の間に置く、間髪を置かず大小二切れが排出された。四隅を軽くひねり手首に下げたビニール袋に納めたご婦人は何事も無かったように曳き紐を曳いて歩き始めた。その流れるような仕様に私は暫し立ち止まったままだった。

旬日後、同じ場所(神田川に架かるその名も床しき面影橋と曙橋との間の遊歩道)で、前述の方よりも少し歳上らしい白髪の上品な老婦人の連れた犬がたった今用を足したと覚しき瞬間

に出会った。歩速を落としてすれ違う私の耳に「気持ち良かったでしょう○子ちゃん!云々」なる声を残して件のご婦人はお淑やかに歩き去って行かれた。残存物はそのままお残しになって、何もせずに。

因に犬の残存物はどれも道の真ん中に無く必ず左右に寄って残っている。これも何も通行人に遠慮しての結果ではなく、道の左右の立ち木に向かって片足を挙げて少量を引掛ける犬の習性の延長の結果に外ならないのだらう。道の真ん中に立ち木は立っていないのだから。

更に数日後、中年のご婦人の連れた犬が、これは立ち木の下の土の上に用を足した直後の現場に行き合わせた。件のご婦人は、ビニールの袋から園芸用の小シャベルを取り出し土や落葉諸共残存物を掘り、そのまま傍らの神田川に落とし込んだ。ユスリカの幼虫等を常食にしている鯉達も時ならぬご馳走に鮭ならぬ、鼻曲がりの鯉にならねばよいが!

願わくはペットの残存物を避けるべく視線を足元に置き、首を曲げて歩く事無しに背筋を伸ばして真っすぐに前方を見て歩ける日の来たらんことを!

遊歩道の延長にある江戸川橋公園の一角に野良猫の一段が巣くっている。どれも同じ毛並みと顔をしている。中にカラスにでも突かれたのか、片目の潰れた子猫がいる。試しに呼んでも絶対に近寄らない中で、その仔だけが物怖じせずそばに来て足元に顔を擦りつけ、猫族特有の媚態を示す。無性に可哀想で且つ可愛い。

更に足を延ばし駒塚橋と豊橋の間で一匹の三毛猫と仲良しになった。途中で引っこ抜いた猫じゃらしで少時相手をする。出会った当初、名前が分からないので拙宅で飼う猫の名前の「ミココ」と呼び掛けるとそばに寄ってくる。後に飼い主に「ミココ」なる名と聞き音感が似ていた所為と納得する。

扱、我が家の飼猫は推定十七〜十八歳、人間でいえば百歳前後、歯こそ二本を残すのみだが五官は未だに健在で、帰宅の家の足音を聴くと必ず玄関戸前迄出迎えにでる。これ又すこぶる愛しい。只、この習性ゆえに毎朝暗いうちに散歩に出るべく玄関でそーっと靴を穿いていると大きな鳴き声で見送りに出、家人を目覚めさせるのに困っている。

この「ミココ」に変わった習性がある。ある時、洗面所で顔を洗っていると、隣接の浴室からかすかな水音が聞こえてきた。水道の栓の締め忘れかと少し開いていたドアを引き開けると、なんと「ミココ」が排水孔の真上にお尻をつき出し用を足していた。やがて前足で土を被せる猫独特の仕草の後、こちらの顔をみながら「ニャー」と一声鳴いて出ていった。得意顔だったのか、恐縮顔だったのか分からなかった。その後、小の際は必ず浴室利用なので当方としては、後始末の上で大変助かっている。それにしても、教えたわけでもないし、どうして覚えたのか今以て分からない。因みに老猫らしく、「チヨロチヨロツ」と、所要時間が少し長めである。

前記の上品な老婦人に是非お聞かせしたい我が家の愛猫の寸描である。

平成八年十月

詩歌

宮田 文明(昭37年卒)

愛する花、友人を始として一首

臥牛の山にそそり立つ  
我等が同胞ここに栄えし  
竹高の友、いざゆかん、世紀の道  
共に学び、共に歩み  
久遠の絆を結びて  
試験の技術をより高き  
みがきてここに光りくる

編集後記

ご意見、ご投稿有り難うございました。

皆様は今後も楽しく関心をもって気楽に読んで戴ける会報の編集に努める所存です。私共委員の大半が不慣れにつき、各紙面について数々のご叱責・ご批判を戴けますれば一同誠に幸甚に存じます。

併せましてお願い!!

※「投稿」をお待ちしています!!

若い世代の皆さまの「クラス会情報」や「特別寄稿」等々のご投稿を特に期待してお待ちしております。



投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

・連絡先

千葉県浦安市今川2-10-31  
神田 清 宛(広報委員長)  
☎047-354-9456